

平成26年度事業実績及び収支決算について

平成26年度事業実績報告書

I. 全体概要

平成25年度第2回理事会で承認された平成26年度事業計画に基づき、かんしょにがうり・いちご・かぼちゃ・らっきょう・ラナンキュラス・スイートピー・デルフィニウム・ピーマン台木等の種苗生産・供給に取り組んだ。

種苗供給では、かんしょ・いちごが前年度実績比及び本年度当初計画比で増加した。

ラナンキュラス・スイートピーは前年度実績比で増加、当初計画比で減少となった。

本年度の種苗供給事業の収益実績額は47,942千円となり、前年度実績に比べて4,600千円増となった。又前年度実績比111%、当初計画比101%となった。

本年度の事業費の支出実績額は64,575千円で、前年度実績に比べて112%で6,916千円の増加となり、当初計画対比では105%となった。本年度はかんしょ苗生産・供給の増大等により賃金・資材費が増加したことや修繕費の増大等があり、前年度に比べて事業費が増大した。

本年度の経常収益実績は71,401千円となり、経常費用実績73,280千円を差し引いた本年度の経常増減額は△1,879千円となり、前年度の経常増減額に比較して△3,601千円となった。

II. 業務別事業実績

1. 管理運営に関する事業

1) 総会

第52回定時総会を平成26年6月27日に、第1回臨時総会を平成26年8月6日第2回臨時総会を平成27年3月24日にそれぞれ開催し、上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[総会の開催]

総会	開催日	場所	議案事項
第52回定時総会	平成26年6月27日	J Aビル503研修室	1. 平成25年度事業実績及び収支決算(案)について 2. 任期満了に伴う役員改選(案)について(別表-1)報告事項 ・平成26年度収支予算の補正について
第1回臨時総会	平成26年8月6日	J Aビル503研修室	1. 理事の辞任に伴う後任者の選任(案)について(別表-3)
第2回臨時総会	平成27年3月24日	J Aビル503研修室	1. 平成27年度会費及び納入方法(案)について報告事項 ・平成26年度収支予算の補正について ・平成27年度事業計画及び収支予算について ・施設整備準備金の取崩しについて

2) 理事会

理事会を開催し総会付議事項等について審議した。上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[理事会の開催]

理事会	開催日	場 所	議 案 事 項
第1回 理事会	平成26年 6月27日	J Aビル 503研修室	1. 平成25年度事業実績及び収支決算(案)について 2. 平成26年度収支予算の補正(案)について 3. 任期満了に伴う役員改選(案)について (別表-1) 4. 平成27年度会費算出の見直し(案)について
第2回 理事会	平成26年 6月27日	J Aビル 503研修室	1. 役付理事の選定(案)について (別表-2)
第3回 理事会	平成26年 7月15日	J Aビル 503研修室	1. 理事の辞任に伴う後任者の選任(案)について (別表-3) 2. 平成26年度第1回臨時総会の開催について
第4回 理事会	平成26年 8月6日	J Aビル 503研修室	1. 役付理事の選定(案)について (別表-4)
第5回 理事会	平成27年 2月19日	J Aビル 503研修室	1. 平成26年度収支予算の補正(案)について 2. 平成27年度平成27年度事業計画及び収支予算(案)について 3. 平成27年度会費及び納入方法(案)について 4. 平成27年度借入限度額(案)について 5. 施設整備準備金の取崩しについて 6. 平成26年度第2回臨時総会の開催(案)について 報告事項 ・会長理事及び常務理事の職務執行状況の報告について ・種子備蓄年限の改正について

3) 企画運営委員会

企画運営委員会を理事会に先立ち開催し、理事会付議事項及び報告事項等について協議した。

[企画運営委員会の開催]

委員会	開催日	場 所	協 議 事 項
第1回企画 運営委員会	平成26年 5月29日	総合農試 第1会議室	第1回理事会付議事項 (4議案) について
第2回企画 運営委員会	平成27年 2月5日	総合農試 第1会議室	第2回理事会付議事項 (5議案) について

4) 優良種苗生産・供給担当者会議

優良種苗利用促進事業等を効果的かつ円滑に推進するため、関係機関と連携して、担当者会議を開催した。

[担当者会議の開催]

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
花き部門	平成26年 6月2日	総合農試 第2会議室	・スイートピー等の花き優良種苗生産・供給の検討 ・県等関係機関との花き種苗生産・供給の情報交換
	平成26年 6月9日	J Aビル 503研修室	・花き優良種苗利用促進事業成績検討 ・花き優良種苗利用促進事業設計検討
	平成26年 11月12日	総合農試 第2会議室	・ラナンキュラス等の優良種苗生産・供給の検討 ・県等関係機関との花き種苗生産・供給の情報交換

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
野菜部門 (かんしょ 含む)	平成26年 5月13日	J Aビル 503研修室	・野菜優良種苗利用促進事業成績検討 ・野菜優良種苗利用促進事業設計検討
	平成26年 7月31日	総合農試 第2会議室	・いちご・にがうり等の優良種苗生産・供給の検討 ・県等関係機関との野菜種苗生産・供給の情報交換
	平成26年 8月12日	農試畑作園芸支場 会議室	・かんしょ・らっきょうの優良種苗生産・供給の検討 ・県等関係機関との野菜種苗生産・供給の情報交換
	平成26年 11月27日	総合農試 第2会議室	・にがうり等の優良種苗生産・供給の検討 ・県等関係機関との野菜種苗生産・供給の情報交換
	平成27年 1月19日	農試畑作園芸支場 会議室	・かんしょの優良種苗生産・供給の検討 ・県等関係機関との野菜種苗生産・供給の情報交換
	平成27年 3月12日	総合農試 第2会議室	・いちごの優良種苗生産・供給の検討 ・県等関係機関とのいちご苗生産・供給の情報交換

5) 監 査

定例の棚卸監査及び帳簿監査が行われた。

監査名	期 日	協 議 事 項
棚卸監査	平成26年10月 2日.	平成26年度上期末棚卸監査
	平成27年 4月 2日.	平成26年度期末棚卸監査
帳簿監査	平成26年10月29日.	平成26年度上期末帳簿監査
	平成27年 4月15日.	平成26年度期末帳簿監査

2. 種苗生産・供給事業

1) 園芸作物の優良種苗の生産及び安定供給

(1) 宮崎県が育成したオリジナル品種の種苗供給

県総合農業試験場で育成された野菜・花きの品種等について、宮崎県から許諾を受け、種子の採種生産及び供給を行った。

- ①かぼちゃは、「宮崎早生1号」等の供給を行った。供給が減少しているが、本年度実績は839千円、計画比97%となった。
- ②にがうりは、「みやざきつやみどり」「佐土原3号」等を供給した。本年度実績は7,834千円、計画比83%と減少した。
- ③ピーマン台木は、「みやざき台木3号」等を供給した。本年度実績1,459千円、計画比94%と減少となった。
- ④スイートピーは、新品種「恋式部」や「ムジカラベンダー」等を供給した。本年度実績480千円、計画比90%と減少した。
- ⑤デルフィニウムは、「レグルス」「アルマイル」等を供給した。本年度実績は2,190千円、計画比106%と増加した。
- ⑥キクは、「神馬66-4」を供給した。本年度実績248千円、計画比128%と増加した。

(2) 栄養繁殖作物のウイルスフリー苗の供給

かんしょ、いちご、らっきょう、ランタンキュラスのウイルスフリー苗の生産供給を行った。

- ①かんしょは、「宮崎紅」「コガネセンガン」等7品種の苗供給を行った。
本年度実績(合計)は20,990千円となり、計画に比べて105%と増加した。
「宮崎紅」は本年度実績8,622千円、計画比125%と増加した。
「コガネセンガン」は本年度実績10,980千円、計画比105%と増加した。
「べにはるか」は本年度実績345千円、計画比142%と増加した。
- ②いちごは、「さがほのか」の苗供給を行った。本年度実績3,063千円、計画比113%と増加した。
- ③らっきょうは、「らくだ」の種球を供給しているが、近年減少している。
本年度実績2,414千円、計画比89%と減少した。
- ④ランキュラスは、県オリジナル「ガーネット」「ラズベリル」「ローズクオーツ」等16品種を培養苗で供給した。本年度実績が1,701千円となり、計画比72%と減少した。

(3) 優良種苗利用促進事業

優良種苗の安定生産供給技術の開発及び確立試験等を行った。

- ①いちご無病苗育成のための検定技術と防除技術の確立
- ・萎黄病検定を2回行い、萎黄病は検出せず感染はないと判断した。
 - ・炭酸ガス施用防除試験では、ハダニ殺虫効果100%と高かった。
 - ・炭疽病検定で孢子塊は検出せず、炭疽病感染はないと判断した。
- ②かんしょの安定生産技術の確立
- ・「宮崎紅」新系統0-61GとA-3の現地評価試験では、0-61GはA-3より収量が高く、総合評価も高かった。ただ、A-3は加工用等で需要があり継続検討する。
 - ・「ムラサキマサリ」のウイルスフリー系統のN06とN07が収量は高かったが、総合評価が最も良いN06の増殖を検討する。
- ③スイートピー「紅式部」の採種技術の確立
- ・4週間及び7週間の種子冷蔵期間の違いが採種量に及ぼす影響を12月上旬定植で、調査継続している。
 - ・整枝・誘引法が採種量に及ぼす影響について、調査継続している。
 - ・2月下旬～3月上旬採種、冷凍保存した花粉の受粉利用が可能と判断した。
 - ・平成25年度選抜N0.1・2・3は茎長がやや長く、花茎も長い傾向がある。
- ④デルフィニウム採種及び種子貯蔵技術の開発
- ・「ベガ」は側枝での交配で採種効率が良い傾向がある。一株当たり粒数は、主枝制限株区が主枝通常株区に比べて採種量が多かった。
 - ・採種種子貯蔵方法の検討した結果、「レグルス」「リゲル」等4品種ともに、自然乾燥種子の種子庫(15℃)貯蔵で発芽揃いが良いことを認めた。
- ⑤ランキュラスウイルスフリー球根の安定生産技術の確立
- ・球根堀上時期の5月中旬～下旬(慣行)は、繁忙期で作業分散等を図るため、11月下旬定植、堀上時期5月下旬(慣行)と6月下旬に検討する。
 - ・球根養成を隔離ベッド利用区と地床区で比較試験を11月下旬定植、5月下旬堀上げ調査、球根の品質や収量等を検討する。

⑥ 優良系統・品種の保存管理

野菜2品目5品種・系統、いも類1品目10品種・系統、花き5品目15品種系統の優良親株の保存管理を行った。

[優良親株の保存]

作目	品目	品種	導入先	導入年次	保存形態
野菜	いちご	とよのか	宮崎市	平成5年	プラスチック苗
		キングベリー	えびの市	平成12年	プラスチック苗
		みやざきなつはるか	県総合農試	平成25年	プラスチック苗
	らっきょう	らくだ	県総合農試	平成2年	プラスチック苗
		らくだ	都城市	平成5年	プラスチック苗
いも類	かんしょ	宮崎紅	串間市	平成7年	プラスチック苗
		宮崎紅A-3	県総合農試	平成18年	プラスチック苗
		宮崎紅0-61	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		ことぶき	宮崎市	平成8年	プラスチック苗
		べにはるか	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		コガネセンガン	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		アヤムラサキ	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		ジョイホワイト	県総合農試	平成24年	プラスチック苗
		ムラサキマサリ	県総合農試	平成25年	プラスチック苗
コガネマサリ	県総合農試	平成26年	プラスチック苗		
花き	キク	神馬66-4	県総合農試	平成21年	選抜親株
	スターチス	スターライトパール	県総合農試	平成7年	プラスチック苗
		スターライトローズ	経済連	平成7年	プラスチック苗
	デルフィニウム	GN89(シルウス親)	県総合農試	平成18年	プラスチック苗
		LP93	県総合農試	平成20年	プラスチック苗
	ランキュラス	ガーネット	県総合農試	平成18年	プラスチック苗
		ラズベリル	県総合農試	平成19年	プラスチック苗
		ローズクオーツ	県総合農試	平成21年	プラスチック苗
		ランキュラス4品種	県総合農試	平成22年	プラスチック苗
	スプレーカーネーション	ローロ	綾町	平成19年	親株
ローロレット		県総合農試	平成19年	親株	
ローロピンク		県総合農試	平成19年	親株	

2) 野菜苗の受託育苗

8月～10月に野菜苗(ピーマン、ナス、キュウリ)育苗をジェイエイ・アグリシード(株)から受託して行ない、ハウス施設の有効活用等を図った。野菜苗育苗の受託収入は、本年度実績が6,400千円となり、前年度実績比120%となった。

品目	数量
なす苗(佐土原ナス含む)	17,630本
きゅうり苗	50,173本
ピーマン苗	56,979本
合計	124,782本